

# タウンニュース®

かどろ  
街

外食の喜び、噛みしめる  
肢体不自由児ら区内店舗に

肢体不自由児が安心して成された。発足から50年以  
暮らせる社会を目指す「N」上が経った現在は約200  
PO法人浜松地区肢体不自由人の会員があり、脳性マヒ  
由児親の会（静岡県浜松児童集団療育事業や地域ホ  
市）が9月末、障がい者やランティア交流・育成事業  
要介護者も利用しやすい店などを展開している。

づくりを進める「チャイニ 今回の訪問は、神奈川方  
ーズレストラン風の音（瀬面への旅行の一環。これま  
谷区三ツ境）を訪問。脳性での旅行は、車椅子で食事  
小児マヒによって重度の障できる店が見つからず、バ  
がいがある子どもたちなどスでご飯を食べることもあ  
が、車椅子に座りながら中つたそう。インターネット  
華料理を楽しんだ。

で同店を見つけて、車椅子  
同法人は肢体不自由児の  
療育や自立促進、福祉意識  
の啓発などを目的として結  
バリアフリーであることな  
どから利用を決めたという。  
会員は「ゆっくり食べられ  
る場所を探していた。この  
ようなお店は静岡では珍し  
いのでありがたい」と話す。  
この日は、親やボランティア  
スタッフが含めておよそ  
30人が来店した。食事した  
子どもらは「最高の味です」  
などと喜んだ様子だった。



食事する団体関係者ら